



土佐のまほろば あつたか南国市

十大基本目標

シリーズ⑩

働く秋び二輝く 産業づくり

南国市は「なんごく・こうち地方拠点都市」地域に指定され、若者の県内定住の受け皿としての産業業務機能の集積都市として位置づけられています。二十一世紀には若者が定住し、働くことのできるように産業の誘致や育成を積極的に進め、既存産業の体質改善を図り、基幹産業の農業を含めた後継者や人材育成、産・官・学の連携による産業基盤づくりに努めます。

① 農業

農業は本市の基幹産業であり、県下第一の農耕地を有しています。ほ場整備の促進や果樹非水事業の推進などによる基盤整備を行うとともに、後継者や新規就農者の育成に向けた事業に取り組みます。

○農業生産の近代化の基礎条件であるほ場整備などの基盤整備  
○無農薬・低農薬作物の学校給食への導入や郷土料理の創作、ファーマーズマーケット整備など健康生活の基盤づくりを検討  
○農業者を育成するとともに、法人化や団地化など農業経営の近代化を進める  
○果実担い手育成基盤整備事業による後継者の確保、新規就農希望者に対する新規就農条件の整備  
○足腰の強い農協を目指した大同合併を推進  
○中山間地域の振興について積極的に取り組む

② 林業

○森林・林業の多面的、公益的役割の大切さ、緑化思想の普及・定着を図る  
○「木の文化集構想」に基づき、公共施設などの木造建築化、木製品の導入促進など木の良さ、ぬくもりの普及・啓発運動を進める

③ 水産業

○獲る漁業から栽培漁業への転換や魚介類加工による付加価値の拡大に努める  
○漁業協同組合の合併を促進し、経営基盤を強化

④ 工業

南国市にある既存の企業と南国オフィスパークへの誘致企業との交流を積極的に進め、市内にある工業系教育機関との技術面・人材面での連携を進めます。

○工業団地の開発や立地企業への支援対策の充実など、企業立地の受け皿づくり  
○産業業務施設（南国オフィスパーク）の早期完成を目指すし、多様で質の高い魅力ある就労の場を確保  
○既存工業の経営の近代化、企業体質の改善・経営基盤

の強化

○量産型企業（工場）から開発型企業（工場）の立地促進を図る  
○公的研究機関などの誘致を図り、大学・高専や研究機関などとの連携システムを整備  
○南国オフィスパークセンターを本県の情報拠点として機能強化し、産業支援センターとしての役割を強化

⑤ 商業

活気あるまちづくりのため、後免町周辺の再開発事業の着実な進行により、商業の活性化を図り、若者や交流人口の増加を図ります。

○魅力ある商店街の整備を目指すし、「デ・ごめんパーク」アプリシテイ事業を推進し、商業機能と都市機能の複合的な整備を促進  
○商工会など商工団体との連携を図りながら後継者の育成・経営指導の充実などを行う  
○広域高速交通体系の拠点性を生かした卸流通拠点、物流関連産業の立地を促進  
○土曜市の発展と知名度の向上に努め、南国市の特産品の販売を拡大

⑥ 観光

観光地としての宿泊施設、レジャー施設などの施設整備を行うとともに観光行政の視点をおき、交通拠点性を有効に生かすことを目指します。  
○世界一の「土佐のオナガドリ」の観光活用について取り組む



○国府・岡豊・長岡各地区を結び「まほろばの里ゾーン」の整備  
○「見る観光」から「行動し学び、滞在する観光」へを目標に、シンボルの創出  
○広域観光の拠点としての役割を担う新しい観光地づくりなどを検討する  
○農業を主体とした新たな観光について農業団体とともに進める  
○高速道路の玄関口である「道の駅南国」の充実や宿泊施設・会議場の整備など交流人口の増加を図る  
○「土佐日記門出のまつり」、「土佐のまほろば祭り」などを市民の祭りとして発展させるために、官民一体となって取り組む

同和問題 Q & A

疑問に答えて⑨

その二

○人間には、競争心や優越感があるので、差別はなくならないのではないかと？

昨年来、政府官僚の不祥事が相次いで明るみに出されています。

人間として許されない行為をした官僚たちは、知識偏重の偏差値教育を受け、厳しい受験競争をくぐって来た人々だといわれています。

知識の量や学歴だけで人間の値打ちを決めてしまう現在の日本の学歴偏重社会、偏差値社会の中で、過度の競争心やゆがんだ優越感を持たされてきた典型ともいえます。

過度な競争主義は、自分さえよければハハとハハ何の苦みや苦しみに思いたらうとしません。そればかりか、勝った者は上、負けた者は下

同和教育 シリーズ

という上下関係を作り出し、人間を学歴・肩書き・財産・出生地などでしか判断しない考え方を産み出します。つまり、下とされた人は、「劣った者」とみなされ、生涯不利を受けざるを得ない。

しかし、人間にはそれぞれ個性や特徴があり、思いやりやあたたかさ、日々の努力など、誰でも優れた部分を持っていません。それを無視して、学歴や肩書き・財産・出生地などを比較して優劣をつけるのではないのでしょうか。本来の競争心はもっと公正なはずです。

つまり今の日本の社会では、差別があっても人々はそれに気づきにくい仕組みになっているのです。そして、知らず知らずのうちに差別はあっても当たり前という意識を持つようになり、差別はなくなるといふとあきらめてしまいます。このように、誤った競争主義によってもたらされる社会や考え方は、人間らしく生きたいと願うすべての人々の幸せを奪い去ってしまっています。私たちは、個人が人間として尊ばれ、その人の日々の努力・人間性・あたたかさなどもっと大切にされ、個性や能力が十分に発揮できる社会をつくっていくことが必要なのではないのでしょうか。

そのためには、私たち市民一人ひとりがしっかり学習を重ね、人権を尊重するものを見方・考え方・生き方を身につけることが必要です。そして、家庭・学校・職場・地域社会全体にある不合理・矛盾・差別を見抜き、それをなくしていく行動をすることが大切です。

新しい住宅情報提供!!

HICシステム導入

(ハウジング・インフォメーション・センター)

市民の皆さんの住宅ニーズの多様化、高度化が進行する中で、タッチパネルの操作により、住宅設備機器、建材、インテリアから税金など住宅に関するいろいろな情報をモニター（テレビ画面）で見ることが出来るシステムを導入しました。市役所1階、市民ホールに設置していますので、どうぞ自由にご利用ください。

※このシステムのお問い合わせは 都市計画課建築係 (☎市役所内線225) まで

